

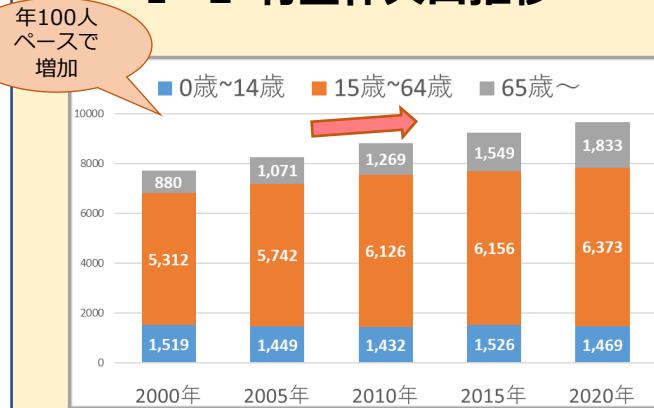
忍野村 人口ビジョン(改訂版)の概要

はじめに

- 国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の人口推計と本村の人口推移は大きく乖離する。大手企業等の雇用に強く影響を受ける本村では、**社人研とは異なる独自推計が必要**である。
- 2016年実施の本村の独自推計による人口推計も人口推移との差が生じている。今後の村の政策を着実に堅実に進めていくため、忍野村第6次総合計画後期基本計画及び第Ⅱ期総合戦略の策定に合わせ人口ビジョンを改訂した。なお、人口ビジョンで描く将来展望を実現するための具体的な取組は、忍野村第6次総合計画後期基本計画及び第Ⅱ期総合戦略に記載している。

I 章 人口ビジョン策定の考え方

I-1 村全体人口推移

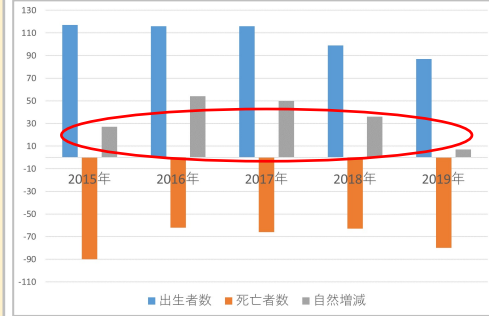


- 一貫して増加傾向。2000年~2020年の比較では村全体の総人口が**約125%の増加**。
- **15~64歳**に占める人口の割合が総人口の**約7割**と多い(2020年)。
- 65歳以上の人口が20年間で**208%の増加**。

I-2 自然増減

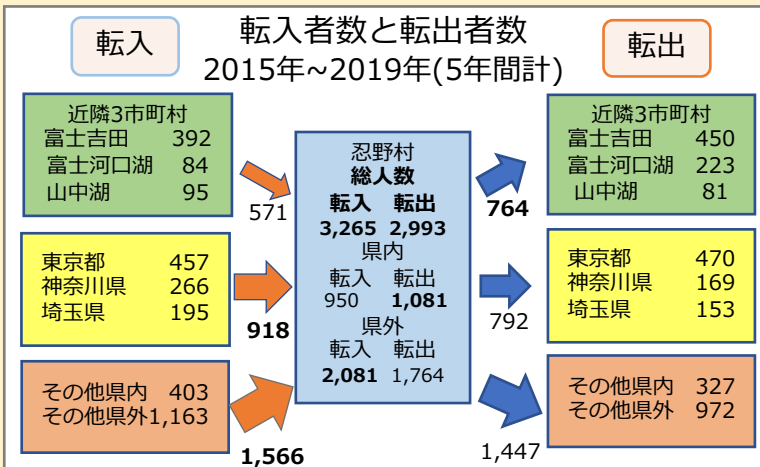
- 自然増減は出生者数が死亡者数を上回る「**自然増**」の傾向。
- 2008年~2015年までの**合計特殊出生率は県1位の1.82(県平均1.51)**。

本村の出生者数と死亡数(自然増減)

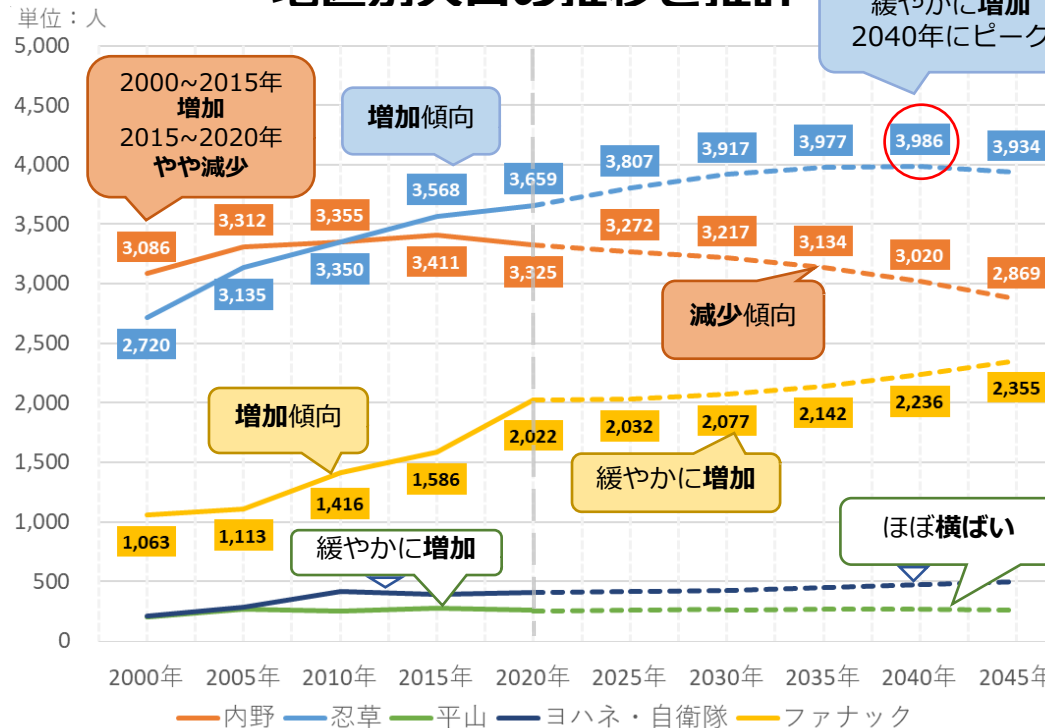


I-3 社会増減

- 他自治体から忍野村へ移り住む人（以下「転入者」とする。）は忍野村から他自治体へ移り住む人（以下「転出者」とする。）より多い。
- 忍野村から近隣3市町村への転出者のほうが転入者より多い。結婚に伴う住宅の購入等の要因が考えられる。
- 東京・神奈川・埼玉からの転入者のほうが転出者より多い。
- 県外から村への転入者のほうが転出者よりも多い。



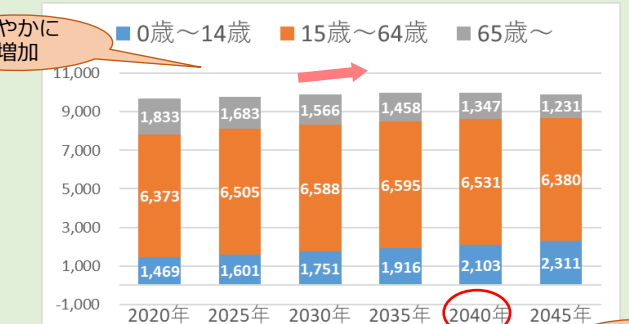
地区別人口の推移と推計



II 章 人口推計

II-1 村全体人口推計

将来的な日本全体の減少傾向を加味して推計した。



- 2040年まで一貫して**増加傾向**だが**2040年~2045年は減少傾向**。
- 2030年には65歳以上の人口を14歳以下が上回る。

※ヨハネ・自衛隊地区、ファナック地区の人口推計は、雇用状況や業績等の社会情勢による影響が大きく、正確な推計が不可能なため、社会増減の変化率を抑制して推計。

II-2 男女・年齢層別推計

年齢3区分別人口の推移 (村全体)

	2020年		2025年		2030年		2035年		2040年		2045年	
	kQ	m/s	kQ	m/s	kQ	m/s	kQ	m/s	kQ	m/s	kQ	m/s
0歳~14歳	768	701	827	774	896	855	975	941	1,064	1,039	1,163	1,148
15歳~64歳	3,733	2,640	3,816	2,689	3,875	2,713	3,890	2,705	3,865	2,666	3,792	2,588
65歳~	805	1,028	728	955	664	902	607	851	552	795	494	737
kQ/m/s	5,306	4,369	5,371	4,418	5,435	4,470	5,472	4,497	5,481	4,500	5,449	4,473
総計	9,675		9,789		9,905		9,969		9,981		9,922	

- 男性の人口が女性の人口を上回る。特に**15~64歳の階層で男性の人口が多い**。
- 2020年~2045年において、0~14歳・15~64歳の階層は増加。65歳以上の階層で微減。

人口ビジョン(将来展望)

- 本村の将来人口は横ばいから微増の傾向。
- 社人研の将来人口推計では、今後日本の人口は大きく減少傾向となり、本村も例外ではない。
- 以上より2035年の将来人口見通し、及び2045年の将来人口目標を以下の通りとする

2030年 (令和12年)の将来人口 見通し: **9,905人**
 2045年 (令和27年)の将来人口 目標: **10,000人**